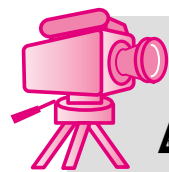


# 代表・一般質問

# 区政を

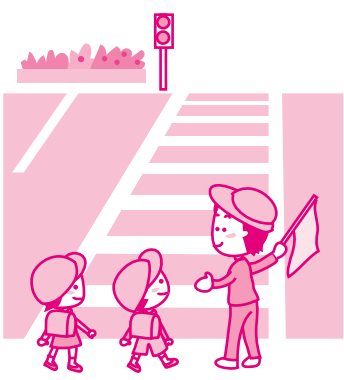


本会議の録画中継を  
区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

【問】児童の安全確保を最優先に通学路を選定し、通学班を編成するなど考えている。16年12月から通学班による登校の訓練を実施し、更に必要箇所には人員を配置し、安全確保に取り組んでいく。

【答】児童の安全確保を最優先に通学路を選定し、通学班を編成するなど考えている。16年12月から通学班による登校の訓練を実施し、更に必要箇所には人員を配置し、安全確保に取り組んでいく。

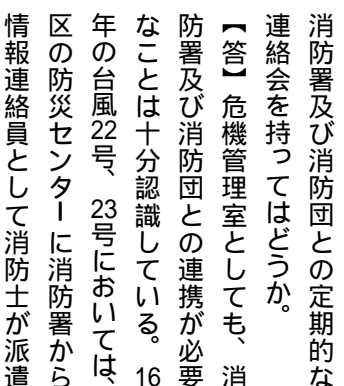


【問】千三小と元宿小を統合し、17年4月に千寿双葉小が開校するが、新校が建設されるまでの間、元宿小の校舎を使用することとなる。このことは、千三小の学区域から通学する児童にはかなりの距離となる。交通安全に配慮した対応が必要だが、子ども達が安全に、そして安心して通学できるための方策を具体的に考えているのか伺う。

【答】千三小と元宿小を統合し、17年4月に千寿双葉小が開校するが、新校が建設されるまでの間、元宿小の校舎を使用することとなる。このことは、千三小の学区域から通学する児童にはかなりの距離となる。交通安全に配慮した対応が必要だが、子ども達が安全に、そして安心して通学できるための方策を具体的に考えているのか伺う。

【問】千三小、元宿小両校の子ども達が、新校になってもスムーズに新しい生活に慣れ、楽しく友達と学校生活を送れることが保護者の切なる願いである。そのための具体的な取り組みは行われているのか。

【答】教職員連絡会が中心になり、自然教室や臨海教室での合同レクリエーションの実施や総合的な学習の時間での交流授業など児童の交流を図っている。これら交流事業の実施により、児童の交流も深まっており、17年の統合時にはスムーズに学校生活を送れるものと考えている。



【問】毛長川の防水体制については、東京都第六建設事務所、足立区土木部、地元との連絡会があるが、防水体制を充実させるため、各消防署及び消防団との定期的な連絡会を持つてはどうか。

【答】危機管理室としても、消防署及び消防団との連携が必要なのは十分認識している。16年の台風22号、23号においては、区の防災センターに消防署から情報連絡員として消防士が派遣されたが、現状では、消防署・消防団との定期的な連絡会を持つていない。今後、連絡をより強化するため、定期的な連絡会の設置について検討していく。

【問】心身危険度判定員の活動が、新聞で報道された。建設委員会でも報告があり、心身危険度の判定は終了したと聞くが、現在も復興のための住宅相談や罹災証明の調査のために建築士のボランティアを募っている。

【答】被災地では、現在、罹災証明や住宅再建に対応できるボランティアが少なく、建築の知識を持った技術者が求められている。現地での状況や要望を踏まえ、区がボランティア派遣事務局となつて支援体制を継続したいと考えている。

【問】学力向上には、児童・生徒を直接指導する教員の指導力向上が不可欠である。

【答】学力向上には、教師の指導力向上はなくてはならない。また、高い志と豊かな感性、更には優れた実践力を持つ教員はますます求められている。しかし、今後数年間、教員の退職や新規採用の増加が想定され、指導力ある教員が経験の浅い教員を教えたり、助言を与えたりすることに、学校全体の教育力の向上を図ることが求められる。

【問】足立区自治基本条例は、足立らしい地域社会を創造するためのものである。施行にあたってはどのようなイベントを実施し、区民に宣揚するのか、区の見解を伺う。

【答】条例の施行に際しては、区民フォーラム等を実施し、自治意識の高揚を図っていく。基本計画について

【問】基本構想が策定され、基本計画でその構想が実現される。期待するが、平成16年度包括予算制度の中での執行残が、17年度の基本計画初年度にどう活かされるのか、区の見解を伺う。

【答】たとえば政策経営部では、協働の視点から、新たに「提案型協働事業制度」を予算化する。とともに、アイディアバンクの創設などを検討していく。

【問】足立区の創業支援施設と

【問】足立区自治基本条例は、足立らしい地域社会を創造するためのものである。施行にあたってはどのようなイベントを実施し、区民に宣揚するのか、区の見解を伺う。

【答】条例の施行に際しては、区民フォーラム等を実施し、自治意識の高揚を図っていく。基本計画について

【問】基本構想が策定され、基本計画でその構想が実現される。期待するが、平成16年度包括予算制度の中での執行残が、17年度の基本計画初年度にどう活かされるのか、区の見解を伺う。

【答】たとえば政策経営部では、協働の視点から、新たに「提案型協働事業制度」を予算化する。とともに、アイディアバンクの創設などを検討していく。

【問】足立区の創業支援施設と

【問】足立区自治基本条例は、足立らしい地域社会を創造するためのものである。施行にあたってはどのようなイベントを実施し、区民に宣揚するのか、区の見解を伺う。

【答】条例の施行に際しては、区民フォーラム等を実施し、自治意識の高揚を図っていく。基本計画について

【問】基本構想が策定され、基本計画でその構想が実現される。期待するが、平成16年度包括予算制度の中での執行残が、17年度の基本計画初年度にどう活かされるのか、区の見解を伺う。

【答】たとえば政策経営部では、協働の視点から、新たに「提案型協働事業制度」を予算化する。とともに、アイディアバンクの創設などを検討していく。

【問】足立区自治基本条例は、足立らしい地域社会を創造するためのものである。施行にあたってはどのようなイベントを実施し、区民に宣揚するのか、区の見解を伺う。

【答】条例の施行に際しては、区民フォーラム等を実施し、自治意識の高揚を図っていく。基本計画について

【問】基本構想が策定され、基本計画でその構想が実現される。期待するが、平成16年度包括予算制度の中での執行残が、17年度の基本計画初年度にどう活かされるのか、区の見解を伺う。

【答】たとえば政策経営部では、協働の視点から、新たに「提案型協働事業制度」を予算化する。とともに、アイディアバンクの創設などを検討していく。

【問】足立区の創業支援施設と

【問】足立区自治基本条例は、足立らしい地域社会を創造するためのものである。施行にあたってはどのようなイベントを実施し、区民に宣揚するのか、区の見解を伺う。

【答】条例の施行に際しては、区民フォーラム等を実施し、自治意識の高揚を図っていく。基本計画について

【問】基本構想が策定され、基本計画でその構想が実現される。期待するが、平成16年度包括予算制度の中での執行残が、17年度の基本計画初年度にどう活かされるのか、区の見解を伺う。

【答】たとえば政策経営部では、協働の視点から、新たに「提案型協働事業制度」を予算化する。とともに、アイディアバンクの創設などを検討していく。

【問】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

【答】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。



【問】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

【答】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

【問】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

【答】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

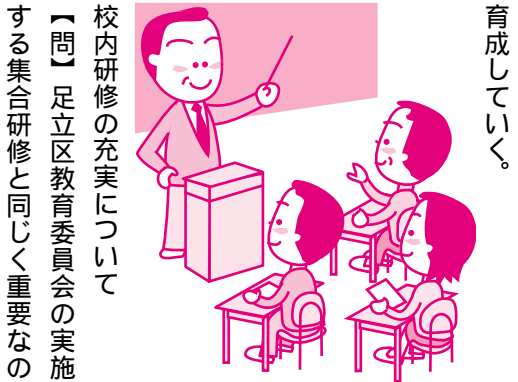
【問】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

【答】母子乳幼児健康診査の受診率は3〜4ヶ月児健康診査で98%、3歳児健康診査では91%となっている。未受診家庭に対しては、発達・発育を支援するための相談や訪問を行っている。

## 足立区議会公明党



ふちわき 啓子 議員



【問】足立区教育委員会の実施する集合研修と同じく重要な校内研修の充実について

【問】足立区自治基本条例は、足立らしい地域社会を創造するためのものである。施行にあたってはどのようなイベントを実施し、区民に宣揚するのか、区の見解を伺う。

【答】条例の施行に際しては、区民フォーラム等を実施し、自治意識の高揚を図っていく。基本計画について